

病害虫発生予察情報

6 月月報

平成 26 年 7 月 18 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2014 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	26.1	0.6	18.0	1.8	21.7	1.2	349.0	1171	42.0	80
中旬	27.6	1.8	18.6	1.0	22.8	1.5	65.5	108	68.3	170
下旬	27.1	1.0	19.2	0.4	22.4	0.3	82.5	122	28.9	104
平均	26.9	1.1	18.6	1.1	22.3	1.0				
合計							497.0	315	139.2	114

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・中旬は高く、下旬は平年並だった。

降 水 量：上旬はかなり多く、中旬は少なく、下旬は平年並だった。

日照時間：上旬は少なく、中旬はかなり多く、下旬は平年並だった。

上旬：1日から4日にかけては高気圧に覆われておおむね晴れとなり、気温もかなり高くなったが、その後は、低気圧や上空の寒気の影響で曇りや雨となった。また、6日から7日にかけては東京（大手町）の24時間降水量が165.5ミリとなり、6月として月最大24時間降水量の極値を更新した。なお、関東甲信地方は5日ごろに梅雨入りしたと見られる。

中旬：14日から16日にかけてと19日は高気圧に覆われておおむね晴れたが、その他の日は梅雨前線上の低気圧や上空の寒気の影響で曇りや雨となり、13日は一時雷雨となった。

下旬：梅雨前線や上空の寒気の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に24日から25日にかけてと29日は、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴った大雨となった。また、24日は降ひょうによる被害が発生したところがあった。

2 作物生育概況

(1) イネ

植え付けは終了した。植え付け後の生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：ハウストマト、露地のトマト、キュウリ、ナス等果菜類の生育はおおむね順調であったが、キュウリでは曲がり果などがやや多くみられた。エダマメ、スイートコーンの生育も順調であった。

葉根菜類：施設コマツナは順調であったが、露地では一部で多雨による湿害がみられた。

キャベツ、タマネギについては順調であった。

いも類：ジャガイモ、サトイモの生育はおおむね順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

安芸クイーン、高尾、巨峰すべてで、平年よりも早めの開花始・盛であった（ - 4 ~ 5 日）。

巨 峰 : 開花始 5 月 25 日（ - 4 日）、開花盛 5 月 28 日（ - 4 日）

安芸クイーン：開花始 5 月 25 日（ - 5 日）、開花盛 5 月 29 日（ - 4 日）

高 尾 : 開花始 5 月 23 日（ - 4 日）、開花盛 5 月 26 日（ - 4 日）

(4) 茶樹

6 月は、平年より気温が高く、降水量が多く、茶樹の生育は順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯における誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病

< 少 > 発生は少なかった。

トマト

モザイク病

< やや多 > 発生はやや多かった。

灰色かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

葉かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

疫病

< 少 > 発生は少なかった。

白ぶくれ症

< やや多 > 発生はやや多かった。

オンシツコナジラミ

< 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

オオタバコガ

< 少 > 発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病(施設)

< やや少 > 発生はやや少なかった。

モザイク病

< 少 > 発生は少なかった。

うどんこ病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

べと病

< やや多 > 発生はやや多かった。

アザミウマ類

< やや多 > 発生はやや多かった。

ナス

アザミウマ類

< 並 > 発生は平年並であった。

ハダニ類

< 少 > 発生は少なかった。

コマツナ

白さび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

炭疽病

< 少 > 発生は少なかった。

コナガ

< 少 > 発生は少なかった。

カブラハバチ

< 少 > 発生は少なかった。

アザミウマ類

< 少 > 発生は少なかった。

スイートコーン

アワノメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

ネギ

べと病

< 少 > 発生は少なかった。

さび病

< 並 > 発生は平年並であった。

ネギアザミウマ

< 多 > 発生は多かった。

ネギハモグリバエ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

キャベツ

株腐病

< 並 > 発生は平年並であった。

黒腐病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

コナガ

< 少 > 発生は少なかった。

ヨトウガ

< 少 > 発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

うどんこ病

< 並 >

発生は平年並であった。

チャドクガ

< やや少 >

発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

利 島：ツバキでトビモンオオエダシヤクの発生が多かった。

三宅島：レザーファン及びドラセナでコガネムシ、カラーで軟腐病、ルスカスでアブラムシ及びハスモンヨトウの発生が目立った。

八丈島：フェニックス・ロベレニーへのマイマイガの被害が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月9日	7月14日	0	0
大田市場	6月9日	7月14日	0	0
板橋市場	6月9日	7月14日	0	0
淀橋市場	6月9日	7月14日	0	0
北足立青果市場	6月9日	7月14日	0	0
青梅青果市場	6月6日	7月8日	0	0
八王子北野市場	6月6日	7月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月6日	7月8日	0	0
国立市場	6月6日	7月8日	0	0
東久留米市場	6月6日	7月8日	0	0

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。